

神河町の地域経済動向について

～これからの経営判断に役立つ情報～

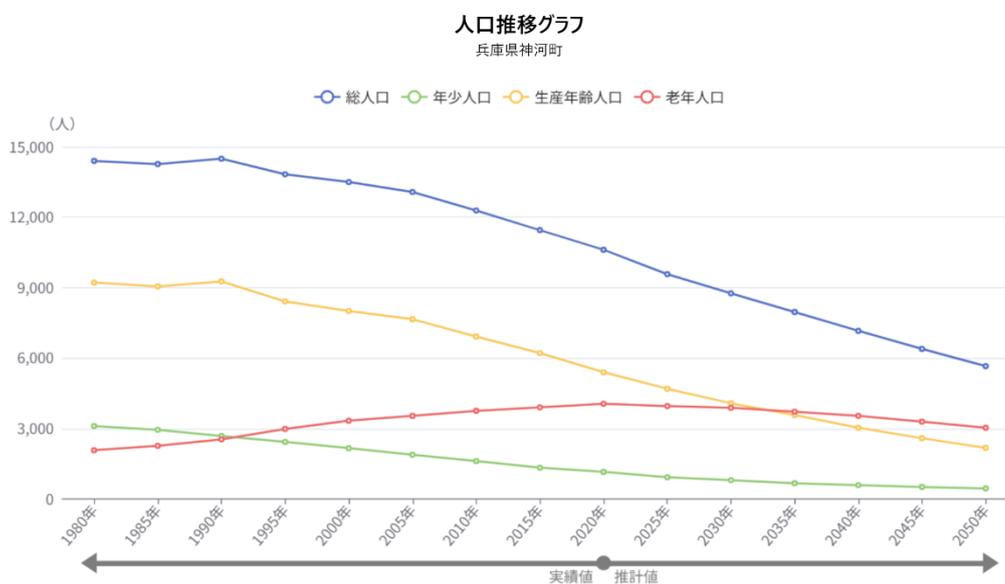
地域経済動向について、神河町で事業を続けていくうえで知っておきたい地域の状況を、国の統計データなどをもとに、わかりやすくまとめました。

「今後も今のやり方で大丈夫か？」

「どんな工夫が必要か？」

そんな判断のヒントとしてご活用ください。

○神河町の現状（ポイントまとめ）

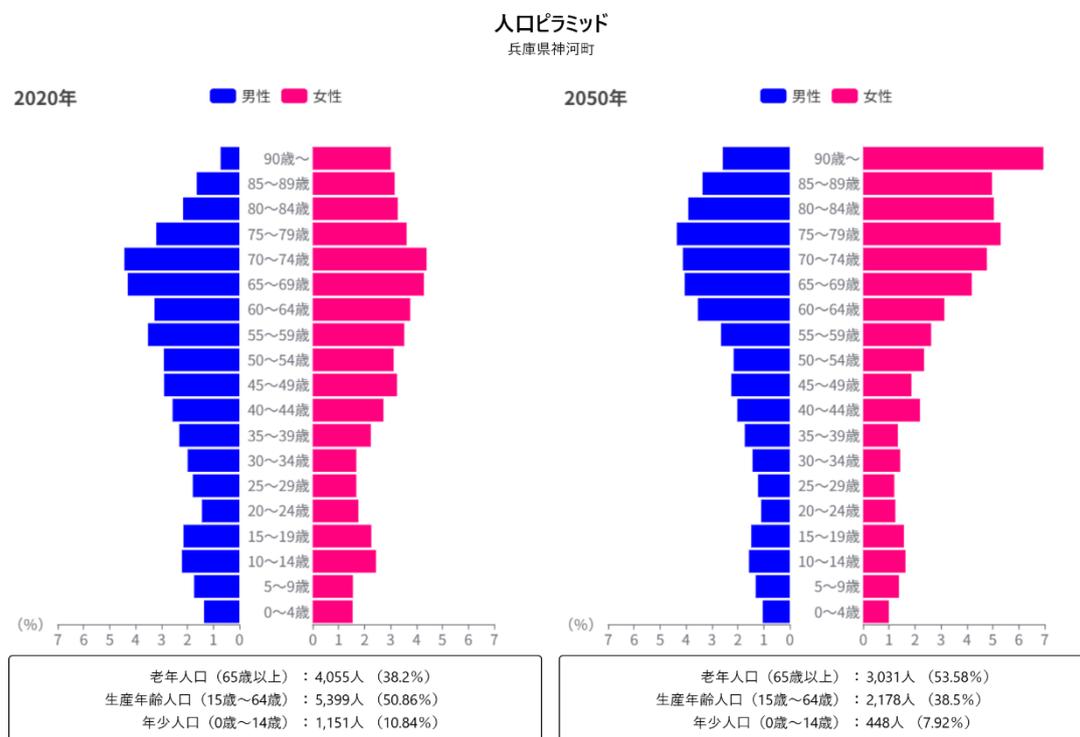


神河町の人口推移（RESAS より）

まずは結論です。

- ・神河町は人口減少・高齢化が進んでいる
- ・小規模事業者が地域経済を支えている
- ・価格競争だけでは経営が厳しくなりやすい
- ・「選ばれる理由」を持つ事業者が生き残りやすい

1.人口の動きから見えること



年齢階層別人口構成 (RESAS より)

- ・ 神河町の人口は、長期的に減少しています
- ・ 特に若い世代が少なく、高齢者の割合が高い状況です

2.経営への影響

- ・ お客様の「数」が自然に増えることは期待しにくい
- ・ 一方で、身近で頼られるお店・事業者の役割は大きくなっています

3.人の動き (来訪者・交流)

- ・ 地元の方だけでなく、観光や用事で町を訪れる人も一定数います
- ・ 業種によっては地域外のお客様を取り込む工夫がチャンスになります

4.神河町の産業の特徴

建設業、製造業、サービス業など小規模事業者が多い地域です
 大企業が少ない分、一事業者の存在感が大きいのが特徴です

5.全国の小規模事業者の傾向

国の調査では、次のような課題が多く見られます。

- ・人手不足
- ・後継者問題
- ・原材料費・仕入価格の上昇
- ・価格転嫁の難しさ

これらは、神河町の事業者にとっても他人事ではない課題です。

6.消費の変化

「安さ」よりも安心・信頼・満足感が重視される傾向、モノだけでなくサービス・体験への支出が増えています

7.これからの経営のヒント（大切な5つ）

神河町で事業を続けるための考え方です。

- 1.新規客より、常連客を大切に
- 2.自分の強み・得意分野をはっきりさせる
- 3.少ない人数でも回る仕組みづくり
- 4.価格ではなく、価値で選ばれる工夫
- 5.地域外のお客様も意識する

8.本資料の活用方法

- ・事業計画づくり
- ・経営の見直し
- ・補助金・支援制度の検討時の参考資料

としてご活用ください。

「自社の場合はどう考えたらいいか？」

と感じた方は、商工会までお気軽にご相談ください。

【本資料で使用している主なデータ】

- ・地域経済分析システム（RESAS／内閣府）
- ・小規模企業白書（中小企業庁）
- ・総務省統計局（家計調査等）

※各種公開データをもとに、神河町商工会にて整理・作成しています。